夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校
学校だより 第4号
令和5年7月14日

夏休み楽しみましょう!でも、その先のことも考えて!

連日うだるような暑さが続いており、職員玄関前に吊るしてあるWBGT測定器とにらめっこをしております。自立活動に作業学習、体育に部活と熱中症にならないように水分補給や休憩、活動場所に気を付けながら取り組んでいます。部活が大好きな運動部の生徒は、WBGTの数値で本日部活中止のアナウンスを受け「まじか～、やりたかったな～!」と嘆いていましたが、安全優先で我慢してもらっています。

そんな暑い中でしたが、1年生は職場見学、2･3年生は現場実習に頑張って行ってまいりました。私も1年生の職場見学に2か所ほど同行させていただきました。各企業とも暑さ対策はもちろんのこと、ちょっとした体験活動なども用意してくださり、作業の手順等を教わって生徒が取り組み始めました。教師の性なのか『こうすればもっと効率よくなるのでは…』や『ここ揃えれば見栄えよくなるのでは…』等々、もう少しで口に出しそうになりましたが、担当の方々のお話を聞かせていただき納得でした。「会社の考えとして、多少時間はかかっても基本的に抑えなければならないラインがクリアしていれば自分がやりやすい方法で気分よく作業してもらうことにしています。自分で工夫して納得できるのが、長い目で見ると効率化につながります。」というものでした。本人が困って聞いてくるまでは、指示や指導はなるべく控え、しっかりと自分で考えることが必要であると改めて感じる出来事でした。

7月11日は学校薬剤師の岡田先生をお招きして、2年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。1年間タバコを吸い続けた場合に溜まるタールの量にはビックリしました。(視覚で分かるように見せていただいたペットボトル容器にはドロドロの真っ黒いタールがたっぷり入ってました)ニコチンによる中毒の怖さ、がんを含め病気になるリスクの高さ、また、最近流行している電子タバコや合法と言われているドラッグについても心配な点をお話しいただきました。繁華街での麻薬の密売なども、決して他人事ではなく身近なところでもありうる状況となっています。最後はロールプレイングで、タバコや薬物を勧めてくる人からどうやって断るかを、迫真の演技で迫る教師と必死に断る生徒のやり取りで締めくくりました。1･3年生は夏休み明けに同じように薬物乱用防止教室がありますが、夏休み前に少しだけでも怖さを知っておいてほしいと思い、ネタバレとなってしまいますが書かせていただきました。

これから迎える夏休みには楽しいことがたくさん待っていると思います。でも、楽しさの裏には怖さも潜んでいることを頭の片隅(いや、真ん中に!)入れておいてください。タバコや薬物だけでなく、ネットトラブルに闇バイト、数え上げたらきりがないくらいの事件や事故に巻き込まれる可能性があります。被害者にも加害者にもならないように、ちょっと先の未来を想像して自分のすべき行動を考えて過ごすようにしていきましょう。

校長　三宅 健二朗